

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	消化器癌症例における EGFR の術前補助化学療法の病理学的奏効予測因子としての有用性
	研究目的	EGFR は細胞の増殖や成長を制御する上皮成長因子 (EGF) を認識し、シグナル伝達を行う受容体である。消化器癌において、増殖浸潤、及び変異に関わっていることが報告されている。 本研究では、2005 年 4 月～2017 年 12 月に局所進行消化器癌に対し、術前補助化学療法を投与後に根治切除 + 術後補助化学療法を施行した症例を対象とし、術前補助化学療法の投与前に内視鏡で採取した生検組織を用い、癌組織における EGFR の発現と術前補助化学療法の病理学的奏効の関係を検討し、EGFR の術前補助化学療法における病理学的奏効予測因子としての有用性を検討する。
	研究期間	西暦 2017 年 12 月 28 日～西暦 2018 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	消化器外科 塩澤学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科 塩澤学
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学外科治療学 准教授 大島貴